

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 17日(水) 19時00～21時00		
市町村名	三郷村	グループ名	1
メンバー	(: 司会、○ : 記録者)		

① 県提供資料(♠「塩の道」ハイウェイ ♠将来の交通量予測)について、若干の疑問点、質問点が出されました。2回目の意見交換会ということで、前回と同様な議論の繰り返しにならないために、どのような議論を深めたらよいのか、そもそもわれわれの意見交換は、これから先、どんな扱いを受けるのかという②意見交換会を続けていく意義、意味を問う議論がなされ、賛成・反対の意見形成のための新たな③視点、論点の指摘がありました。前回同様、生活道路の整備、とくに松本にアクセスする新たな橋と道路を求める点では賛成・反対双方で一致。前回問題になった『小倉の混雑』については『山麓線の拡幅工事で一刻も早く対処すべきであり、三郷村は県に強く請求すべき』との意見がありました。次回は11月5日。以下、上の番号順に発言をまとめました。

① 県提供資料について

- ♠について-----・将来予測は人口、経済成長、地域特性など、どのような予測に基づいているか？
・大町以北の将来予測がないのはおかしい。何故か？
- ♠について-----読み込んで検討するには時間が必要である。
- ♠-----・高規格道路未供用の場合の将来予測で広域農道通行車輛減少の理由は？
(・については県担当者に次回解答してもらう)

② 意見交換会の位置付け

賛成反対の意見を出しあっているが我々なりに村民を代表していない。責任がとれない。
村議会で話し合ったことはない。説明を受けたこともない。(村会議員)
意見交換がどのように政策決定に反映されるのか？知事の耳には入るのか？
意見取りまとめた、その先のシステムはどのようなになっているか？
[その先の進め方の提言あれば出して欲しい...県]
意見は一応言ったし、忙しいし、そうは出席できない。
今日もらった資料は検討するに時間が必要だし、次回開催は必要。

③ 賛成・反対の新たな論点

- (1) 賛成----- W T O体制のもとで農業も厳しい競争原理にさらされている。その中で実所得を上げ、W T O体制に打ち勝つ形態としては、どうしても観光農業にならざるを得ない。I T革命のもと、人の流れ、物流を担う高規格道路は必要。
高規格道路は作り方次第で、単に観光道路ではなく、産業道路、生活道路になる。
行政は将来を考えてもっと熱意を持って推進し、説得して欲しい。

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 17日(水) 19時00～21時00		
市町村名	三郷村	グループ名	1
メンバー	(: 司会、○ : 記録者)		

- (2) 反対----- 三郷村の将来ビジョンとの関連で考えないといけない。
 村の発展方向が明確でなく、村民に伝わってこない。
 もっと、将来ビジョンが村民の中で論じられるべきその立場で、建設がどうなのか？
 観光客が安曇野に何を求めているか？それは豊かな自然、きれいな空気だろう。スキー客の利便性は新幹線と長野駅から白馬方面へのシャトルバスで対応してもよいのでは。また、農産物に都会の人など消費者が求めるのは口に入れて安心なもの。安曇野のイメージが壊れると大変である。
 パソコンのチャットで意見を求めてみると＜安曇に行きやすくなるが、泊まらない＞、＜海水浴に行きやすくなる＞、＜子に借金残すだけ＞等々で大体賛成が20%。地域にビジョンない限り、賛否問える段階には来ていないと思う。
 地球規模で問題を考えるべき。これまでの便利さと効率追求の生活を反省する時期に来ている。車の台数と糖尿病の因果関係も問題にされている。
 この地域をどうしていくのか。これ以上自然を壊すべきでない。都会人のいやしの場所として存在意義大。
 三郷村からみたこの道路の性格付けはアルプス公園へのアクセスを考えた観光道路。三郷村は通過点。波及効果として商工業の発展は期待できない。現存の道路の構造から、形態的には高架式にならざるを得ないだろう。景観・環境破壊は著しいものになる。

(前回と同様な意見は略させていただきました。)